

龍谷大学ジェンダーと宗教研究センター：連続ワークショップ「性なる仏教」

## 第6回「中世日本の僧と家族」

2023年2月11日（土） 13:00－16:00

### 発表者プロフィール

- 坪井 剛（佛教大学仏教学部准教授）

1980年生まれ。2011年、京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。2014年に博士（文学）取得。京都造形芸術大学専任講師・准教授等を経て、2020年から現職。専門は日本中世仏教史。

主な論文に「「建永の法難」事件再考―訴訟過程の検討を中心として―」（『古代文化』66―1、2014年）、「地蔵院本『笠山会要』と寺誌編纂―附翻刻」（早島大祐編『中近世武家菩提寺の研究』小さ子社、2019年）など。

- 板敷 真純（公益財団法人中村元東方研究所専任研究員）

1989年東京都生まれ。東洋大学大学院文学研究科インド哲学仏教学専攻博士後期課程修了、博士（文学）。公益財団法人中村元東方研究所専任研究員。親鸞や関東の門弟たちを専門とする。

最近の論文は「真宗における妻の役割とその変遷―真宗史料に見る「坊守」の活動を中心として―」（『東アジア仏教学術論集』9、2021年）、「真宗史料に見る妻の活動とその影響―特に十四世紀後半から十五世紀の「坊守」を中心として―」（『東アジア仏教研究』20、2022年）。

### 司会

- 大谷 由香（龍谷大学特任准教授）

1978年生まれ。2006年龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学後、2009年博士学位（文学）取得。2017年4月から本学特任講師、2020年4月から現職。東アジアの仏教戒律思想の変遷を専門とする。

単著に『中世後期泉涌寺の研究』法藏館（2017年）、論文に「越境する戒律問答」（2022年）などがある。